

第6期 第1号(第1刷)  
2015年7月27日発行

# 古賀市議 ぬま健司のニュースレター

最新の情報やデータを発信しています。また「出前報告」もやっています。声をかけてください!



古賀市議会議員  
奴間 健司

ホームページ numakenji.jimdo.com/  
Facebookも活用しています。

ぬま健司後援会事務所  
古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103  
電話/FAX: 092(944)2639

## 国に振り回されない 市議6期目の活動スタート 中村市長に主体的な市政運営を提言

私は市議選後初の定例会(6月11日~26日)でさっそく一般質問を行いました。少子高齢化対策、健康寿命延伸などこれからの10年間は重要な期間です。市議選で訴えた「市民の健康、まちの元気」を掲げ、市民の暮らしを守るための政策提言とその実現を進めていきます。

また、国の「まち・ひと・しごと地方創生総合戦略」に振り回されず、主体的な市政運営が確立されるよう中村市政をチェックしていきます。これまでの20年の経験を活かして頑張ります。



左の写真は私の一般質問の様子です。私が議長時代に整備した大型モニターにグラフを映し出し、わかりやすく政策論争をしました。具体的根拠にもとづく提言をどしどしやっていきます。

### 6月定例会での主な決定

- 工業団地での緑地面積を緩和する条例を制定(15%、2haの緩和)
- 弓道場の廃止に伴い弓道場設置条例を廃止(新弓道場は古賀中敷地内)
- 一般会計補正予算を可決(8332万円増額、公衆無線LAN設置など)
- 安保法制の慎重審議を求める意見書は否決(賛成8人、反対10人)

団塊の世代が75歳以上になる2025年

## 介護保険料は9100円!?

介護予防など10年先を見すえた対策を提言

### 一般質問の主なやりとり

ぬま健司: 10年後の2025年には介護給付費が約2倍、介護保険料は9100円台になるのではないかと?

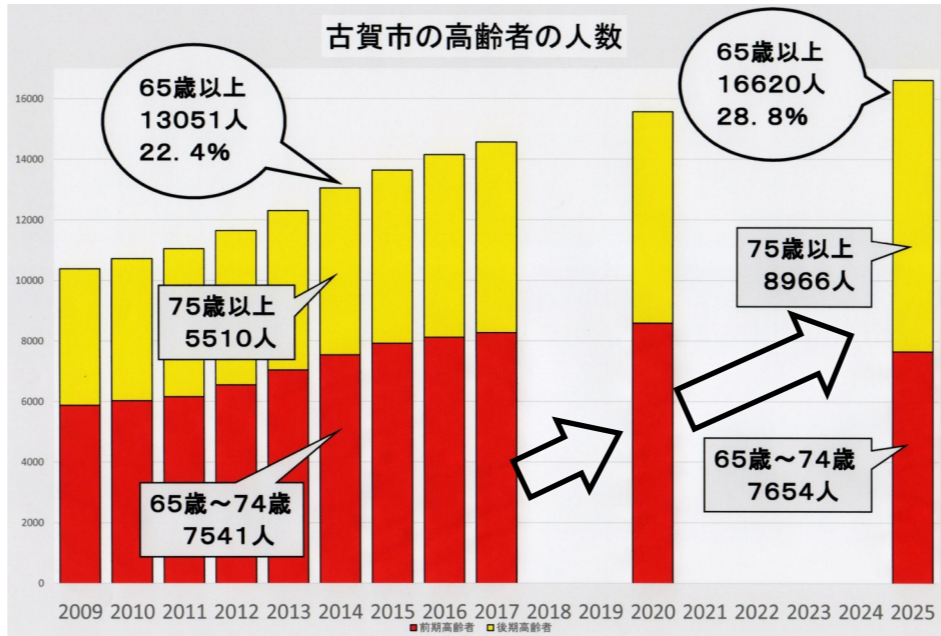
中村市長: 市の財政は相当圧迫される。そうならないよう私も努力したい。

ぬま健司: 今年、介護保険料を値下げした大分県豊後高田市は、保健師を確保し介護予防に力を入れてきた。

中村市長: 糖尿病や認知症予防に早めに力を入れたい。そのために必要な人事配置・組織体制は検討したい。

ぬま健司: 7月、8月に庁議や課長会で徹底的に議論するとともに、老人会など主な団体役員にも情報提供して議論すべきではないかと?

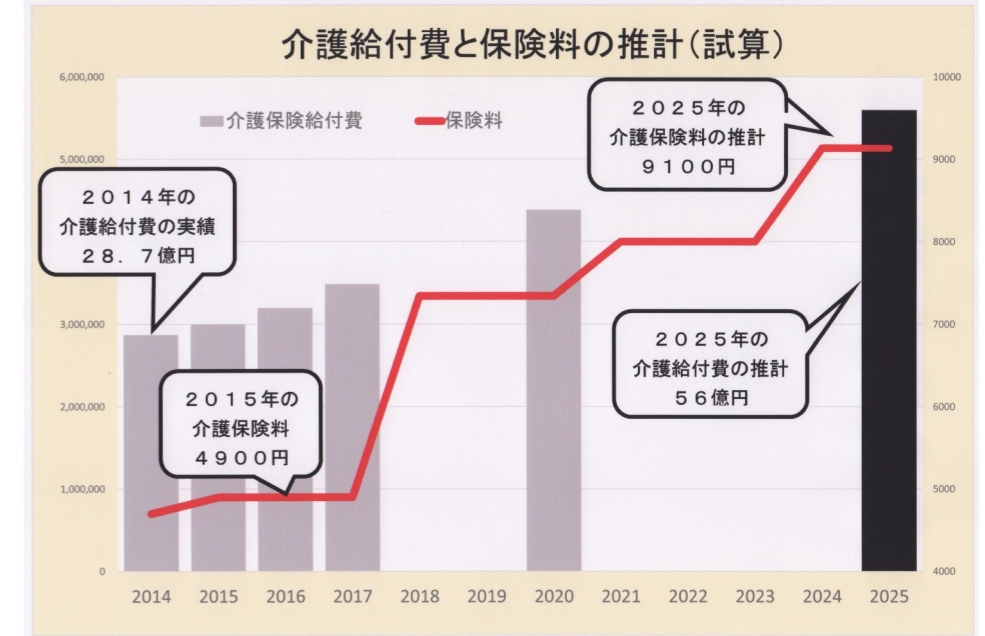
中村市長: あまり悲観してもらっても良くないので吟味して情報提供したい。



2014年の65歳以上高齢者は13051人、高齢化率は22.4%

2025年の65歳以上高齢者は16620人、高齢化率は28.8%

古賀市の高齢者は、今後10年間で約3600人増える見通しです。2025年には、75歳以上の方が約9千人、65歳から74歳までが約7600人となり、いわゆる後期高齢者が上回ります。総人口は、58324人から57788人と減少する見通しです。元気で安心して暮らせるまちづくりは最重要課題と言えます。



2015年の介護給付費は約30億円、保険料は4900円

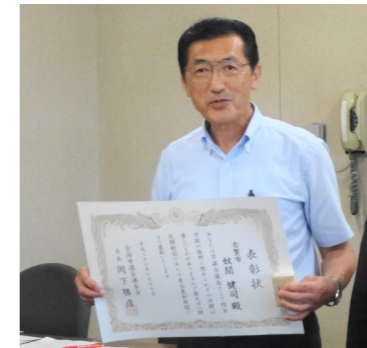
2025年の介護給付費は約56億円、保険料は9100円

私は7月15日に介護保険料を値下げした大分県豊後高田市を視察研修してきました。そこでは、2010年と2014年の比較で、介護予防事業費は2600万円増額し、介護サービス給付費では8300万円減額としました。

参考とすべき点は4点でした。

- ①市長の強い意志とリーダーシップが発揮されていること。埼玉県和光市に学んだこと。
- ②在宅高齢者を対象とする記名式実態調査で、介護予防を必要とする方を自治体単位で把握し、高齢者マップができていること。
- ③地域ケア会議が市の主催で月2回開催され、個別の事例について具体的な検討が行われていること。
- ④保健師の体制が確保され、訪問活動が積極的に行われていること。

古賀市でも市長が先頭に立ち取り組む必要があります。私は、2025年問題への備えが着実に進むよう、多くの市民の皆さんに呼びかけていく決意です。「待ったなしの課題」です!



### ぬま健司のプロフィール

- 1952年4月17日生まれ
- 千葉大医学部中退。
- 1995年町議初当選。
- 2011年5月から4年間市議会議長。
- 2011年11月 自治功労者表彰を受賞
- 2015年4月、5回連続トップ当選し、現在6期目。議運と市民建産委員会に所属。
- 「千鳥が池を愛する会」で千鳥小の自然観察会を支援
- 「地域医療と市民を結ぶ会」(大岩俊夫代表)の事務局長
- 妻(社会福祉士)、息子(義肢装具士)、娘(栄養士)の4人家族
- 趣味 写真、軽登山、コカリナ演奏

私は、2011年5月から4年間、議長を務めました。その結果、全国市議会議長会から感謝状を頂きました。今後は、議長の経験も活かし、2025年を見すえ、「10年計画」で頑張る決意です。



**買い物に不自由を感じている市民に大好評**  
**移動販売の活用で健康増進**  
 コスモス広場が野菜などをお届けします



移動販売用の自動車  
11月から1t車になり充実します

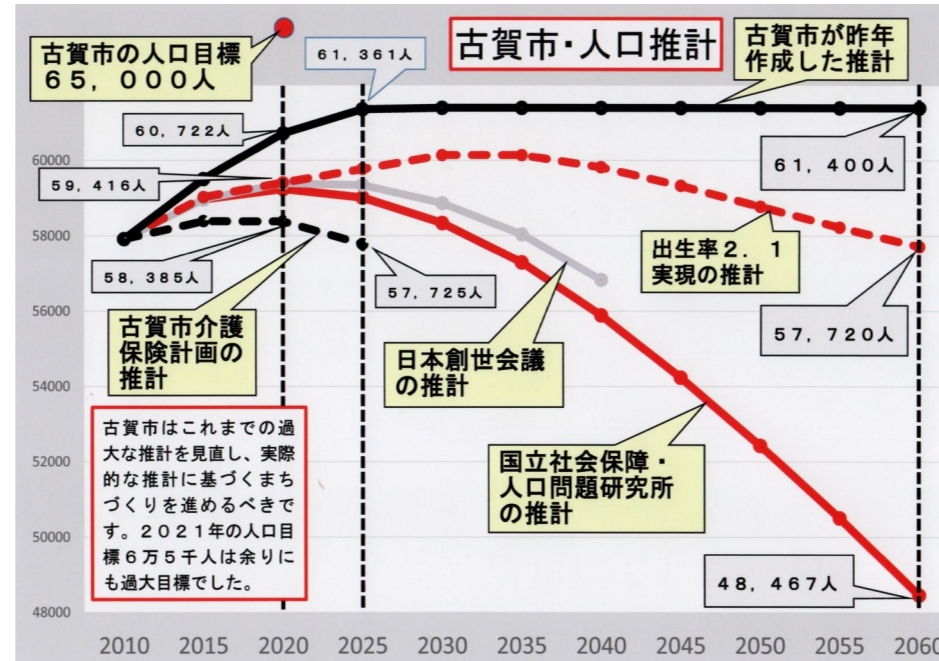
花見東2区公民館での  
移動販売(月2回)

**6月24日の一般質問のやりとり**

ぬま健司：移動販売(グリーンパークのコスモス広場が実施)が行われている10ヶ所を見てきたがどこでも好評だ。  
 中村市長：大変好評でニーズが高い。  
 ぬま健司：食をつなぎ、健康寿命延伸にも効果がある。  
 中村市長：地産地消の推進、買い物弱者支援、栄養改善と外出支援など健康増進と介護予防の面でも効果がある。ヘルステーションとの連携は提案したい。  
 ぬま健司：市として積極的に支援すべきではないか。  
 中村市長：移動販売車両の購入・改造補助だけでなく、市ホームページでの情報掲載など協議を進めたい。  
 ぬま健司：8月末で舞の里の大型ショッピングセンターが撤退する。公民館等で移動販売を行えば、買い物に困る方々は助かると思う。移動販売の拡大について区長会で働きかけることも有効ではないか。  
 中村市長：地域の協力で実施して頂ければいいなと思う。

現在、移動販売が実施されているのは10ヶ所で、公民館では、庄南、花鶴3丁目、日吉台、花見東2区、花見南、千鳥南。集合住宅では花鶴2丁目、フェニックスマンション。他に、ししぶ駅東口の美明や千鳥苑。  
 11月から車両が新しくなります。公民館での健康体操や喫茶などと組み合わせれば効果的で喜ばれます。みなさんの地域でもぜひ検討してみてください。

**65000人は過大な目標人口**  
**人口減少時代への真剣な備え**  
 適切な人口推計は主体性の目安



**6月24日の一般質問のやりとり**

ぬま健司：国は、国立社会保障人口問題研究所の推計で2060年に8700万人まで減少するが、出生率を上昇させ1億人にする方針。同研究所の古賀市の推計では48467人。出生率が2.1まで上昇した場合で57720人。一方、古賀市が玄界環境組合に昨年9月に提出した人口推計では61400人となっている。余りにも推計の差があるがどう思うか。  
 中村市長：目的によって色々な考え方、出し方があると思う。  
 ぬま健司：過小でもなく過大見積もりでもない実際の推計をするということか。  
 中村市長：各地方自治体の努力目標を乗せたところにするのが基本的なことではないか。多くもなく、少なくもなくというところにだいたいいくのではないかと。  
 ぬま健司：古賀市が掲げる2021年の人口目標65000人は過大目標。下方修正し議会に提出すべきではないか。  
 中村市長：相当希望に満ち溢れた目標だと思う。国から長期ビジョンが出され、少子化対策をやっていくという状況の中ではちょっと大きいかなと思う。

古賀市は国から人口ビジョンと地方版総合戦略策定を求められ、私はそれに先駆け、6月定例議会8月上旬にその骨子を示します。で、市の主体的な取り組みを強く求めました。

**「安保」法案 強引なやり方に異議あり!**  
**若者も動き出す 平和と民主主義のために**



◆6月5日、古賀市役所で被爆クスノキ平和祈念植樹が行われました。古賀市は核兵器廃絶を目指す平和市長会議に加盟しています。



◆7月18日、安保法案の慎重審議を求める意見書(賛成8、反対10で否決)を提出した市議7人が、街頭で共同アピールを行いました。

**気軽に外出できる公共交通 提言・実現に全力**  
**国は「地方創生」と言うなら公共交通に財政投入を**

◆古賀市議の多くが公共交通の確立に関心を持っています。今度こそ、市民が利用したくなるような公共交通体系の実現に向けて全力を注ぎます。  
 ◆8月12日には岡山市で開催されるシンポジウムに出席してきます。交通政策基本法施行後の課題を学び、古賀市に活かします。

**早稲田大学マニフェスト研究所が評価**  
**古賀市議会 改革度で九州・沖縄トップに**

◆私が議長在任中の2013年、2014年の議会改革度調査で高い評価を頂きました。視察が多くなりました。  
 ◆写真は筑紫野市での議員有志研修会での講演の様子。各地で議会改革の成果と今後の課題を報告していきます。



**市民相談 まちづくりの大切な第一歩**  
**ぬま健司は皆さんの声を受け止め行動します**



千鳥が池公園の坂道に  
手すりの設置を要望

◆市民の身近な相談は、まちづくりの課題を発見したり、新たな仕組みを作るきっかけになります。どしどしお寄せください。  
 ◆空き家対策、市道や水路の除草、街路灯の管理、公園等のバリアフリー化などに取り組んでいます。即解決や継続課題もありますが全力で取り組みます。